

図書館員のひみつの本棚 第222回

今月は、宇宙の謎や不思議についての絵本を紹介します。

『ブラックホールってなんだろう？ たくさんのふしぎ傑作集』 嶺重 慎／文 倉部 今日子／絵
福音館書店(2022年) ¥1300(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★☆☆ 小高学年★★☆ 中学生★★★★

高校★★★★ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです)

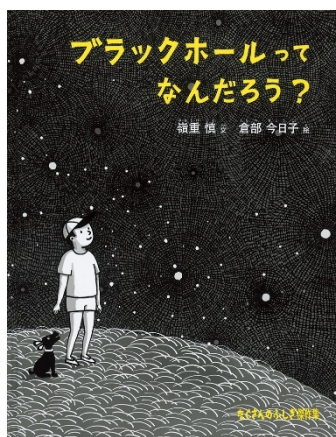
<本の紹介>

謎につつまれた天体、ブラックホール。「なんでも吸い込んでしまう怖いもの」という印象がありますが、実は最近の研究では星や宇宙の誕生に大きく関わる働きをしている可能性があるとか。そんな謎多きブラックホールのことを、なわとびやすべり台、小さくなった去年の服といった、わかりやすくほのぼのとした身近な例えで楽しみながら学ぶことができます。大人が読んでもしっかりとした知識を得ることが出来るので、ブラックホールについて調べる時は、子どもから大人までまずはこの本からとおすすめしたい一冊です。

<子どもに手渡す時のポイント>

子どもに手渡す際はぜひ一緒に読んで、宇宙の謎や不思議について語り合ってみてください。

広大な宇宙について想像力を広げながら楽しく学ぶことが出来るでしょう。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。